

【作文の部】

「私は私らしく」

菊池北中1年 菅野凜音

私は耳が普通の人より聞こえにくいので、補聴器というものをつけています。また、目も少し悪いので、眼鏡もかけています。私が補聴器をつけ始めたのは、小学二年生の秋ぐらいからです。つける前は友だちに名前を呼ばれても気づかないことがあり、肩をたたかれてやっと気付く時がありました。その頃の私は、補聴器をつけることに、周りの人とは違い、特別だといううれしさと、機械を耳につけるという楽しみがありました。実際につけてみると、風の小さな音も聞こえるようになり感動しました。最初の頃は、補聴器をつけることは喜びで、抵抗はぜんぜんなかったのですが、一つ一つ学年が上がるにつれて、補聴器をつけていることが嫌になってきました。理由は、周りを見ると補聴器をつけている友だちが一人もいないからです。周りと違うことが私にとって嫌でした。

中学校に入学し、七月に二泊

三日の集団宿泊で芦北青少年の家に行きました。そこで一日目の夜にクラスミーティングがありました。クラスミーティングでは、一人一人がクラスのみんなに、自分が今悩んでいることやクラスのみんなに伝えたいことなどを発表し、それに対する感想を伝え合います。勇気を出してクラスの一人一人が自分のことやクラスへの思いについて発表しました。

私の発表の番が回ってきたとき、私は、小学二年生の頃に補聴器をつけることになって友だちはどんな反応をしたのかということと、学年が上がるにつれて補聴器が嫌になっていったことなどについてクラスのみんなに発表をしました。なぜこのことを発表したのかというと、補聴器をつけている自分の気持ちをみんなに知ってほしかったからです。発表するときには、みんなはどう思うのだろうと少し不安でしたが、勇気を出して発表しました。発表が終わると私に對して感想を伝えるためにたくさんの方たちが手を挙げてくれました。その中の三人の友だち

問い合わせ先 人権啓発課
☎0968(25)7209

が発表してくれました。

三人とも、私に温かい言葉をかけてくれてうれしかったのですが、その中でも、一人の友だちの言葉が心に響きました。それは「私は私らしくいてもいい」という一言です。この言葉を聞いて、私は自分をありのまま受け入れてもらった気持ちになりました。うれしさと驚きで胸がいっぱいになりました。そして、感謝の気持ちでいっぱいでした。

私のように、悩みを持っている人は必ずいます。だから、みんなでなかまを信じていることが出来るクラスを築き、そして悩みを打ち明けることが出来る仲になっていきたいと思えます。



【ポスターの部】旭志中3年 坂本愛莉

「はい！こちら菊池市消費生活センターです！」

問い合わせ先 菊池市消費生活センター ☎0968(36)9450
(月)～(金)午前10時～正午、午後1時～午後4時 福祉課

元号改元に乗じた悪質商法に注意しましょう！

「改元に伴いキャッシュカードの変更が必要です」という趣旨の文書を高齢者に送り付け、キャッシュカードをだまし取るようとする詐欺が発生しています。

実在する銀行協会を装って文書を送り付け「改元に伴い銀行法が改正になり、キャッシュカードの変更も必要になった」などと言い、口座番号や暗証番号を記入し、カードとともに送り返すよう指示する手口です。

銀行協会が取引銀行や暗証番号を聞いたり、キャッシュカードを預かったりすることは一切ありません。このような文書が届いた場合は、警察や消費生活センターにご相談ください。

悪質な訪問買取にも注意！

「不用品なものを何でも買い取るので今から行っていいか」と突然電話をかけて強引に訪問し、貴金属や古いコイン、切手などを安く買いたたく悪質業者が報告されています。トラブルを避けるために

も、このような勧誘には安易に応じないようにしましょう。もし契約してしまっても、8日間以内ならクーリング・オフで解約することもできます。対応に困った場合には消費生活センターにご相談ください。

出前講座や相談を受け付けています

消費者被害防止のための出前講座を承っています。ぜひご利用ください。

また、消費生活センターでは、専門の相談員が常駐しています。相談は無料です。電話相談も受け付けています。詳しくはお問い合わせください。



お気軽に
お電話ください